

# 慶應医学会例会

## “Dementia care and research – What a difference a decade makes?”

Prof. Louise Robinson  
Newcastle University Institute of Ageing

6月25日(火曜日) 17:30~18:30

総合医科学研究棟 2階会議室

ルイズ・ロビンソン教授はイギリスでGPとしてプライマリーケアの臨床の研鑽を積まれる一方で、ニューカッスル大学 Institute of Ageingのディレクターとして、認知症患者のケアの質の向上に資する様々な研究のリーダーを務めています。日本との研究交流も盛んで、2018年には英国大使館主催の日英認知症ケア研究セミナーで講演をされています。今回の講演では、ロビンソン教授が中心となって進めている認知症患者のケアに関する研究がいかに関知症の現地診療を変えてきたか、またご自身のGPと大学教授というユニークなキャリアディベロップメントについてお話しいたします。

総合診療や認知症ケアにご興味のある方は、ぜひご参加ください。

主催 慶應医学会・総合診療科・総合診療教育センター  
共催 慶應医師会・卒後臨床研修センター・  
専修医研修センター

責任者 藤島 清太郎 准教授

連絡先 新井 康通 専任講師 yasumich★keio.jp

(★はアットマークへ変更ください)

